## 休校記念誌

潮

騷

平成九年三月 尾警市立須賀利中学校



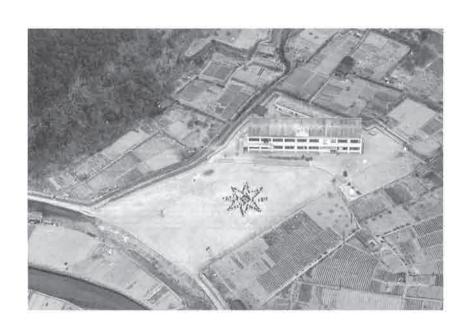
神別しお

騒さい

校門を閉(る日に寄せて 尾警市立須賀利中学校



### 須賀利中学校全景





### 須賀利中学校校歌

作詞 村山 察道 作曲 北村 光雄



# 須賀利中学校校歌

作作 曲詞

北村山

光察雄道

黒潮の豊かに満ちて 明朗の気風みなぎり 新しき希望は湧きて 静かなる港の朝よ

勤労の喜びあふれ たくましき 須賀利中学校

Ξ 潮鳴りを遠くにききて 夕凪の丹生の浜辺よ 協同のほまれ 悔ゆるなき 今日を励みて われら 薫れる 須賀利中学校 わが心日々豊かなり

さみどりの光に映えて いや深き真理もとめて 須賀利中学校 若き眉陽に輝きぬ 我が力日々伸びゆかん なつかしき日和が山よ

### 須賀利中学校よ有難う

#### 昭和46年度卒業生(第25回) 岡本 祐幸

私は昭和44年に須賀利中学校に入学し、47年に卒業しました。私の学年は男7名 女7名の計14名で構成されていました。卒業年の全校生徒数は確か44名だったと思 います。つまり、30年近く前に既に非常に生徒数の少ない中学校でした。その意味 では、今日まで良く存続してくれたものだと、関係者の方々の御努力に敬意を表し ます。

私の須賀利中学在校中の思い出としては、まず、バレーボール部での練習のことがあります。体育館がなかったから校庭の土のコートでボールを追いました。特に、真夏の炎天下では、カラカラに乾いたコート上で喉もカラカラなのを我慢しながら練習しました。また、生徒数が少ないため、出番のやたらに多かった運動会も思い出のひとつです。100m走があったと思ったら、すぐ2kmの中距離走に出て、その後三段跳びをやったり、器械体操で人間ピラミッドを作ったりと、皆大活躍でした。

以上、主に体を動かした思い出を書きましたが、私が現在まで維持してきた体力 及び気力の源が上に述べたようなところにあるように思うのです。勿論、先生方に 熱心に教えて頂いた、基礎学力も現在の自分の拠り所となっています。英語の勉強 を始めたのが須賀利中学ですし、初めて外国人と簡単な会話を交わしたのが、須賀 利中学の修学旅行の時でした。旅行中の課題として外国人と英語で会話することと いうのがあったのです。東京タワー上で、インド人に「このタワーの高さは何mで すか」と質問され、「333mです」と答えたのを覚えています。

須賀利中学は私の進路決定にも大きな影響を与えました。小学校高学年から中学校にかけて、学校の図書室から借りて読んだ宇宙に関する本等に感動し、私は理論物理学者になろうと思いました。そして、素粒子論の研究者になりました。現在、私は研究対象を蛋白質に変更して、その立体構造を計算機シミュレーションで予測する研究をしています。

須賀利中学校は本年3月で休校になりますが、私たち卒業生の心の中では永遠に 存続するでしょう。須賀利中学よ有難う。